

【 緩和的画像下治療（IVR）について】

■どのような症状に対して行うのでしょうか？

がんの進行などによって生じる、さまざまな症状に対して行われることがあります。

- がんによる痛みをやわらげる
- がんによる出血を止める
- 胸水や腹水を排出する
- 胆管が詰まって黄疸が生じた場合に、胆汁の流れを改善する
- 血管が圧迫されて生じるむくみを改善する
- 尿の通り道が詰まった場合に、尿を体外へ排出する
- 食事や薬を飲むことが難しくなった場合などに、症状に応じた処置を行う

などがあります。

■緩和ケアの一つとして

緩和ケアは、がんによる痛みなどの身体的な症状だけでなく、不安や生活上の困りごとなども含め、患者さんご家族のつらさをやわらげるための医療です。

緩和的 IVR も、その中の治療方法の一つです。

- 「痛みが強くなってきた」
- 「お腹が張って苦しい」
- 「息苦しさがある」
- 「出血が心配」

など、気になる症状がありましたら、遠慮なく主治医や医療スタッフにご相談ください。